

研修のお申込み

お問い合わせ・お申込みは……
 特定非営利活動法人
メンタルケア協議会
 Japanese Association of Mental Health Services
 東京都渋谷区代々木 1-57-4 ドルミ第2代々木 2階
 TEL: 03 (5333) 6446 FAX: 03 (5333) 6445
 http://npo-jam.org/ touban@npo-jam.org
 募集要項など採用情報詳細はこちらから……
 < 採用特設サイト: <https://npo-jam.jp/saiyou/> >

定員30名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せてFAXまたはメール添付で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記URLよりダウンロードしてください。

<https://npo-jam.jp/saiyou/jobs/entry.html>

応募締切 2024年1月22日(月)必着

- ※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を1月24日までにメール(またはFAX)にてお送りいたします。
- ※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。
- ※ FAXまたはメール添付にて履歴書を送られた方は面接時に原本を持参してください。

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前 _____ 年齢 歳 性別 男 ・ 女

ご住所 _____

電話番号 _____ FAX番号 _____

メールアドレス(原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを ※携帯アドレスは不可。)
 _____ @ _____

2024年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。
 ※土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。
 ※勤務時間帯は[午前勤]11:30~14:00、[A]13:30~18:30、[B]18:00~22:30、[C]22:00~翌6:00です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修(および受講日)

■必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。
 人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただきます。記載してお知らせいたします。

	研修内容	実施日/場所	時	必修	参加	単位
講義	① 非行少年の支援の現場	1/27(土) TKP新宿西口 カンファレンスセンター8Cホール	12:00~16:30	必修	可・不可	1
	② 依存と生きづらさ	1/28(日) 全理連ビル 9F ABC室	12:00~16:30	必修	可・不可	1
	③ 自殺未遂者の現場	2/4(日) 全理連ビル 9F ABC室	12:00~16:30	必修	可・不可	1
グループ ロール プレイ	① 自殺リスクアセスメントと 自殺に関連する相談	2/10(土)・2/12(祝・月) 全理連ビル9階ABC室	12:00~17:45	必修	可・不可	1
	② 相談を受けとめる	2/23(祝・金)・2/24(土)・3/17(日) 全理連ビル9階ABC室	12:00~17:45	必修	可・不可	1
	③ 他機関へ繋ぐ	3/20(祝・水)・3/23(土) 全理連ビル9階ABC室	12:00~17:45	必修	可・不可	1
	④ SNSと電話へ繋ぐ	3/30(土) ※閉講式 全理連ビル9階ABC室	12:00~18:00	必修	可・不可	1
現場 研修	① 東京夜間こころの電話相談	2/5(月)・2/9(金)・2/13(火) 2/17(土)・2/21(水)・2/22(木) 相談室	18:00~21:00	必修	可・不可	1
	② 東京都精神科救急医療情報センター	3/9(土)・3/11(月)・3/13(水) 3/18(月)・3/22(金) 相談室	18:00~21:00	選択	希望する	1
	③ SNS相談 ※参加可能人数に限りがあります。 予めご了承ください。	3/31(日) 相談室	14:00~17:00	選択	希望する	1
	④ 訪問看護ステーション卵	2/16(金)・2/26(月) 3/5(火)・3/15(金) ステーション訪問対象者宅	9:00~15:00	選択	希望する	1
	⑤ 東京ダルク/ 八王子ダルク	2/7(水)・2/20(火)・3/6(水) 2/27(火)・2/29(木) 東京ダルク 八王子ダルク	13:00~16:00 13:30~16:30	選択	希望する	1
	⑥ アフターケア相談所 ゆずりは	2/1(木)・2/8(木) 3/7(木)・3/14(木)	12:00~16:30	選択	希望する	1
	⑦ 株式会社WALA就労継続支援B型 はたけワーク	3月の土曜日(全2回)	調整中!	選択	希望する	1

東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2024年
1月~3月
のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル~こころといのちのほっとライン~」を平成22年4月から開設しています。
 この電話相談に従事する相談員(非常勤)を育成するための研修を下記のように行います。
 この研修を受講できるのは、令和6(2024)年度から電話相談員(非常勤)として働きたいと考えておられる方です。
 意欲溢れる方々のご応募をお待ちしております。ぜひ参加をご検討ください。
 なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、2024(令和6)年度に相談員(非常勤)として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験
(レクチャー:事前にオンラインビデオの視聴)

※研修参加者にはユーザーアカウントとログイン用のパスワードを発行いたします。
 ※レクチャーの動画を視聴してから研修に参加してください。

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎修了証の発行
 全9単位を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場のご案内

**TKP新宿西口
カンファレンスセンター8Cホール**
 東京都新宿区西新宿1-10-1 ヨドバシ新宿西口駅前ビル
 ■JR山手線新宿駅7番出口徒歩1分

全理連ビル(代々木)9F会議室
 東京都渋谷区代々木1-36-4
 ■代々木駅北口 徒歩1分(1Fがマクドナルドのビルです)

主催
東京都福祉保健局保健政策部
特定非営利活動法人メンタルケア協議会

参加登録制
 定員30名
 参加費不要



研修日程

研修内容	研修テーマ	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師		
I. 基礎知識 習得のための 講義	① 非行少年の支援の現場	TKP新宿西口 カンファレンスセンター 8Cホール 12:00 - 16:30	1/27 (土)	12:00 - 12:10 開講式	西村 由紀		
			12:10 - 13:10 講義 1「地域支援」	竹田 収			
			13:20 - 13:30 質疑応答				
			13:30 - 14:45 仮想事例の地域援助（説明とグループワーク）				
			14:55 - 15:10 質疑応答				
			15:10 - 16:10 講義 2「非行少年の処遇と自立支援」	小柳 武			
	16:20 - 16:30 質疑応答						
	② 依存と生きづらさ	全理連ビル 9階 A BC室 12:00 - 16:30	1/28 (日)	12:00 - 12:50 講義 1「ハルネラブルな私がつながりの先に見つけたもの」	福正 大輔		
			12:50 - 13:40 講義 2「問題行動の背景から見えてくる本人の抱える生きづらさ」 ～非行・自傷行為・薬物・アルコール依存～	渡邊 洋次郎			
			13:55 - 14:35 ディスカッション				
			14:35 - 16:05 講義 3「窃盗癖の心理と病理について」	山下 悠毅			
	16:15 - 16:30 質疑応答						
各1単位 すべて必須	③ 自殺未遂者支援の現場	全理連ビル 9階 A BC室 12:00 - 16:30	2/4 (日)	12:00 - 13:30 講義 1「救急の現場(仮)」	杉澤 淳子		
			13:40 - 13:55 質疑応答				
			13:55 - 15:25 講義 2「退院後のフォロー・地域でできること(仮)」	木村 大			
			15:35 - 15:50 質疑応答				
			15:50 - 16:20 講義 3「自殺未遂者支援事業でできること」事例検討とSV				
			16:20 - 16:30 質疑応答	未遂者支援 相談員			
II. グループ ロール プレイ	①自殺リスクアセスメントと 自殺に関連する相談 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/10 (土) 2/12 (祝・月)	12:00 - 17:45	全理連ビル9階 A BC室 ※ どちらか一日に参加	西村 由紀 大神 那智子 特任相談員		
				12:00 - 17:45	全理連ビル9階 A BC室 ※ 3回のうち一日に参加 ※ 3/17 (日) はビデオ講義となります。	内藤 武 西村 由紀	
					12:00 - 17:45	全理連ビル9階 A BC室 ※ どちらか一日に参加	荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀
						12:00 - 17:45	全理連ビル9階 A BC室
各1単位 すべて必須	④ SNSと電話へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	3/30 (土)	17:45 - 18:00 閉講式	羽藤 邦利			
	相談現場の見学	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師		
III. 現場研修	①東京夜間こころの電話相談	2/5(月)・2/9(金)・2/13(火) 2/17(土)・2/21(水)・2/22(木) 相談室	18:00 - 21:00	電話相談対応の基本（レクチャービデオ） 相談の陪席	荒井 澄子 國吉 淨子		
				18:00 - 21:00	精神科救急対応の基本（レクチャービデオ） センター業務の説明、相談の陪席	西村 由紀 山城 久典 宮本 堯明	
					14:00 - 17:00	SNS相談の基本 SNS相談の現場見学 ※24年度SNS相談勤務予定者には別途研修あり。 ※どうしても現場見学をされたい方のみ申込可能です。	西森 優実子 SNSV
				9:00 - 15:00	2/16(金)・2/26(月) 3/ 5(火)・3/15(金) ステーション訪問 対象者宅	訪問看護の実態について 訪問の同行 (いずれか1日に参加) ※1回の参加者は3名	寺田 悦子 他
					13:00 - 16:00	2/7(水)・2/20(火)・3/6(水) 2/27(火)・2/29(木) 東京ダルク 八王子ダルク	ダルクの活動について 自助グループミーティングへの参加 (いずれか1日に参加) ※1回の参加者は3名
				12:00 - 16:30		2/1(木)・2/8(木) 3/7(木)・3/14(木)	家族を頼れない人の相談・居場所活動を知る 「緩やかに働く場」としてのジャム工房 ※1回の参加者は2名
					調整中!	3月の土曜日 (全2回)	イチゴの収穫時の職員の方の手伝いと利用者様の安全を 配慮したボランティア活動 ※1回の参加者は研修生4名～5名
				3月下旬 (全4回) 相談室		※次年度採用予定の方のみ。	西村 由紀

※1 日程確定後のキャンセルは原則不可です



レクチャービデオ

※レクチャーの動画を視聴してから研修に参加してください。※研修参加者にはユーザーアカウントとログイン用のパスワードを発行いたします。

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 令和4年度 (2024.1～3月)

講師・団体紹介 (50音順)

加藤 隆(かとう・たかし)
特定非営利活動法人八王子ダルク代表理事(施設長) / 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部・科
研費研究員 / 東京都立多摩総合精神保健福祉センター非常勤
相談員 / NPO 法人アパリ理事 / 薬物依存症当事者 / 15 歳から違
法薬物を使い始め 2 度の逮捕を経験し 1997 年から 2 年間ダルクでの回復プログラムを受け終了し、2007 年 NPO 法人東京ダルクに入職。2011 年より東京ダルク八王子施設長を経て、2015 年より現職。

木村 大(きむら・ひろし)
学而会木村病院 副院長 / 国際医療福祉大学精神医学講師 / 千葉
大学大学院医学研究院精神医学特任講師 / 2005 年 3 月東京
医科大学医学部卒業、青梅市立総合病院で初期臨床研修。
2007 年 4 月千葉大学 精神医学教室に入局、成田赤十字病院精神
神経科、千葉県精神科医療センター を経て 2012 年 4 月千葉
大学医学部附属病院精神神経科助教、千葉大学大学院医学薬学
府博士課程修了後、2014 年 4 月 ルートヴィッヒ・マクシミリアン
大学ミュンヘン精神医学教室留学。2016 年 9 月帰国後から学而
会木村病院に勤務、千葉大学大学院医学研究院精神医学教室に
特任講師として勤務。2020 年 4 月国際医療福祉大学成田病院開
院に伴い、同大学精神医学教室に異動、講師として勤務。2021 年
10 月学而会木村病院に勤務。

小柳 武(こやなぎ・たけし)
茨城県再犯防止推進委員会会長 / 東洋大学卒業後、法務省に入
省。犯罪非行臨床の専門家として、刑事施設及び少年鑑別所等で
勤務。薬物濫用者及び外国人受刑者の研究に従事したほか、国連
アジア極東犯罪防止研修所教官、法務省矯正局国際企画官など
を歴任。法務総合研究所では、総括研究官として犯罪白書の執筆・
編集を担当し、我が国の犯罪情勢を分析している。同時に、国連犯
罪被害実態調査に従事し、我が国における犯罪被害の実態、社会不
安の調査研究をしている。2008 年、常磐大学に移り総合政策学
部教授、同大学院被害者学研究科長として勤務。2019 年同
大学を退職。現在、茨城県再犯防止推進委員会会長。

杉澤 淳子(すぎさわ・じゅんこ)
千葉県総合救急災害医療センター精神科主任医長 / 精神保健指
定医 / リエゾン専門医 / 千葉限定 DMAT / 1978 年香川県生まれ。
2004 年東京女子医科大学を卒業後、同大学付属足立医療セ
ンターで卒後臨床研修を受けた。救急現場で役立つ精神医になる
べく、同院 3 次救命センターに救急医として入局。大分医師会立
アルメイダ病院の外科に向向後、同院の 3 次救命センターの立ち上
げに関わる。その後千葉県精神科医療センターに就職し、精神科
を学んだ後、精神科医が不在だった千葉県救急医療センターに就
職。1 人医長でリエゾン業務の傍ら、虐待等対策委員会を発足さ
せた。現在は千葉県総合救急災害医療センターのリエゾン業務の
総括に従事。三姉妹の母

高橋 亜美(たかはし・あみ)
アフターケア事業全国ネットワークえんじゅ代表理事 / 1973 年生
まれ。自立援助ホームのスタッフを経て、2011 年よりアフターケア
相談所ゆずりは※2 をスタート。著書に「子どもの未来をあきらめない
施設で育った子どもの自立支援」(明石書店 2015 年)「はじめ
てはいた靴下」(百年書房 2018 年) など。2018 年より現職。楽しい
酒、川沿散歩、風呂で海外ドラマ見るのが好き。将来は、臨時宿
泊と花屋さんでちよい飲みできる場所をつくりたい!
※2 ゆずりはでは、児童養護施設や里親家庭などで生活していた
人、虐待や支配などの理由から親や家族を頼ることができない人
から様々な相談を受けています。

竹田 収(たけだ・おさむ)
法務省東京西法務少年支援センター(東京西少年鑑別所) 地域非
行防止調整官 / 公認心理師 / 1983 年法務技官(心理)として法
務省入省。少年鑑別所等での非行少年の鑑別等の実施・管理、法
務省矯正局所管機関における鑑別等に関する企画・管理、研修
等に従事。現職においては、地域の個人や関係機関からの依頼を
受けた非行・犯罪の防止に関する各種援助に従事。

寺田 悦子(てらだ・えつこ)
株式会社円(えん)グループ代表 / 当法人は、多摩地域及び新宿
に訪問看護ステーション(8 事業所)・居宅介護サービス事業・地
域活動支援センター・相談支援事業所・PCG・オープンカフェな

ど介護や福祉の事業を「医療」と「福祉」を地域につなげる事を
コンセプトに活動している。また、在宅での支援を必要とする高
齢者から児童まで、「その人らしい豊かで多様な生活ができる
ように応援する」を理念に掲げ、多摩地域を中心に関係機関と
の連携を重要に考えている。更に訪問看護では、「家族支援」に
力を入れている。

野口 豪(のぐち・ごう)
株式会社 WALA 就労継続支援 B 型はたけワーク代表 /
2009 年慶應義塾大学総合政策学部卒業。大学生時代に農家
で修行し農業の道を志す。卒業後に就職した千葉の農園で農
福連携の取り組みに従事しながら年間 100 種類の野菜やハー
ブを栽培する。その後、国内外で、農業事業を立ち上げ農業経
営の経験を積む。2022 年に現在の農福連携事業を川崎市宮
前区で立ち上げ、今後は世田谷区でも展開する予定。

福正 大輔(ふくしょう・だいすけ)
特定非営利活動法人ホッとスペース中原 障害部門主任 / 共同
生活援助・自立準備ホーム管理者 / 「2023 年男性と東京都
でパートナーシップ宣言! HIV 陽性者でスティグマファイターと
して相談支援や講演活動をしている。また、「プロジェクト・ドロ
ブラ」として、演劇や映画製作にも携わっている。2024 年 3
月座・高円寺で舞台作品に出演する予定。

森田 邦雅(もりた・くにまさ)
特定非営利活動法人東京ダルクダルク・セカンドチャンス施
設長 / 1962 年(昭和 37 年) 奈良県に生まれる。大学卒業後
就職するが、仕事に行き詰まり 10 代頃の頃使用した経験がある
有機溶剤(シンナー)を再び使用するようになる。病院への入
院、逮捕等を経験し 1990 年にダルクに入所。その後プログラ
ムを終了しダルクスタッフになり、現在東京ダルクダルク・セ
カンドチャンス施設長を勤める。家族は妻と三人の子供。

山下 悠毅(やました・ゆうき)
ライフサポートクリニック院長 / 1977 年生まれ。埼玉県出身。
帝京大学医学部卒業。精神科専門医。令和 1 年 12 月にライフ
サポートクリニック(東京都豊島区)を開設。これまで性、賭博、
窃盗などの依存性患者を 7000 人以上治療をしており、プラグ
「プロセスのレシピ」でも依存性治療の情報発信をしている。
著書: いい子をやめれば幸せになれる(弘文堂) 他。

渡邊 洋次郎(わたなべ・ようじろう)
依存症回復施設職員 / 大阪生まれ、現在 48 歳。中学の頃に薬
物中毒になり、在学中に何度か警察に捕まり、中学卒業後、すぐ
に、鑑別所入所。4 度の鑑別所入所を経て、16 歳の終わりから
18 歳になるまでの 1 年間を中等長期少年院で過ごす。20 歳
から精神科病院への入退院が始まり、30 歳までの 10 年間で
計 48 回の精神科病院入院。30 歳から 3 年間の刑務所服役。
現在、刑務所を出て、酒や薬が止まり、14 年 9 か月。自助グル
ープのミーティングへ行ったり、就労支援なんかを受け、リカバリ
ハウスいちごで、6 年前から正社員として働き、3 年前の 3 月に
通信制高校を卒業。5 年前の 3 月介護福祉士受験も、無事に
合格。

メンタルケア協議会

◎理事長 羽藤 邦利(はとう・くにとし)
代々木の森診療所理事長

◎副理事長 西村 由紀(にしむら・ゆき)
メンタルケア協議会事務局長

◎理事 荒井 澄子(あらい・すみこ)
元南多摩保健所
大神 那智子(おおが・なちこ)
千葉大学子どものこころの発達教育
研究センター元特任研究員
國吉 淨子(くによし・きよこ)
元都立中部総合精神保健福祉センター
内藤 武(ないとう・たけし)
元立教大学学生相談所インテーカー

◎特任相談員
西森 優実子 / 高橋 美恵子 / 山城 久典 / 宮本 堯明